



平和憲法守り、戦争のない日常を次世代につなぎます！

新春のお慶びを申し上げます。コロナ感染の終息が見えないままでの年明けとなりました。コロナ禍は、社会的に弱い立場に置かれている人に困難をもたらしました。また、感染の第5波では自宅療養中に亡くなる事態も起き、危機に対する社会的支援と医療体制の弱さが浮き彫りになりました。国民の命と暮らしをなによりも大切にする政治を求めます。

日本には、個人の尊厳と恒久平和の実現を掲げる日本国憲法があります。ところが、先の衆議院選挙で自公政権と維新の会の議席が3分の2超となり、いよいよ自民党の目標であ



る憲法改正が進められようとしています。

国家予算を見れば、社会補償、医療に係る予算は減らされ、市民の暮らしが追い詰められている一方で、アメリカとの軍事同盟の強化で防衛費は増え続けています。

日本共産党は戦前、戦後一貫して戦争に反対し、平和で民主的な日本をつくることを掲げ不屈にたたかい続けて、今年は党創立

100年を迎えます。**これからも主権在民、国民の苦難軽減を立党の精神に、暮らしと命を守るために、力を尽くします。今年もどうぞ宜しくお願い致します。**

12月議会報告

●コロナ禍が続き、経済的に困窮する女性が増えています。女性の置かれている現状を丁寧にくみ取る支援が必要です。

全国で女性と子どもの自殺者が増えています。名張市でもコロナ禍における女性相談、DV、虐待等の相談が増加

R2年度：94人 783件

R3年度：76人 498件（11月まで）

・女性が抱える問題

コロナウイルス感染を心配しながら働き続ける医療、介護従事者

ステイホームによる家事、育児、介護の負担

コロナ禍での雇用の在り方を見ると、2020年4月の就業者数は、前月と比較すると男性は39万人減少、女性は70万人減少しています。（2021年版「男女共同参画白書」より）
シングルマザーの完全失業率も増加。シングルマザーの生活は、コロナ禍でより深刻になっています。

●生理の貧困について

小中学校のトイレにナプキンの常備を求めます

経済的な理由で生理用品を十分に入手できない実態があります。ナプキンの購入だけでは無く、生理痛のための鎮痛剤や、ひどい生理痛の場合は受診やピルの服用にもお金がかかります。経血の漏れを防ぐ、生理用の下着も必要です。
貧血、頭痛、腹痛、下痢、眠気、腰痛等、人によって様々な生理の辛さがあります。仕事を休めば収入減。

生理の実態アンケートから

- 「ギリギリの生活の中で、ナプキンを取り換えの回数を減らす」「トイレトペーパーで代用した」
子どもの場合、親の理解が無く十分に用意されない実態もあることが分かってきました。

●生理に関して嫌な思いをした

「経血で服が汚れる」「学校や職場で生理であることを伝えなければいけなかったこと」

- これまで、公共施設や学校の保健室で、申し出ればナプキンが受け取れるようになりました。しかし、それも当事者からすれば体調がすぐれない時に、その事を言い出すことは負担になるものです。

名張市の現状は

市役所（健康・子育て支援室）、まちの保健室、男女共同参画センター（名張市情報交流センター内）、社会福祉協議会（総合福祉センターふれあい2階）、福祉まちづくりセンター（イオン名張店2階）、小・中学校の保健室で、希望者に配布。



生理の貧困問題は、女性の経済的貧困者にナプキンを配布すればいいというものではありません。

女性のからだへの不理解によって、学校や職場での評価に影響するため、適切な休養が取れないことも表面化されました。

性別にかかわらず、誰もが必要に応じて休養が取れ、そのことで評価や内申点に不利益な扱いを受けることのないジェンダー平等社会に向けて、理解を深めていくことが大事です。

子どもたちが安心して学校生活を送れるように、小・中学校のトイレにナプキンを常備してください

県内各地の学校で、トイレでの常備がすすんでいます。

- ・三重県立高校のトイレ
- ・小学校、中学校のトイレ
亀山市、鈴鹿市、いなべ市
松阪市、桑名市、志摩市





新型コロナウイルス感染症第6波への対策について

<PCR検査体制>

PCR検査センター

- ・2020年8月20日から三重県の委託を受け、名賀医師会の協力のもと2022年3月まで設置。
- ・対象者は市内開業医が検査を必要と判断された方。
- ・検査費用は無料（診察料1800円ほどは必要）

2020年検査数 173件

2021年検査数 145件



名張市立病院での検査

- ・2020年12月より、PCR検査機器を4台導入（1台あたり150万円、全額国費）
2021年6月1日より、新型コロナPCR検査（自費検査）を開始。
- ・対象者は自覚症状は無いが、新型コロナウイルス感染が心配な方
海外渡航や就業、学校、帰省等のため新型コロナウイルス検査の検査証明書が必要な方
- ・費用：15,000円（税込） 証明書料：1通 3,000円（税込） 日本語・英語対応

◆無症状者の検査も実施。

三重県とPCR検査実施委託契約を結び、保健所からの検査要請に応じ、第5波で陽性者家族が検査を受けられなかった事象を解消する。

◆抗体カクテル療法の実施。

入院患者に医師の診断の下、抗体カクテル療法の実施し重症化を防ぐ。
2021年8月14日から17人に実施した。今後は外来でも実施可能としていく。

◆市立病院でのオンライン診療にも取り組む。



市立病院だからこそ、新型コロナウイルス感染症に対する政策的対応にいち早く取組めました。R2年度は、国からコロナ対策補助金として8億円が名張市立病院に交付されています。

引き続き名張市立病院が、市民の命と医療を守る公的病院として存続できるようにみんなで守って行きましょう。

<自宅療養回避の体制>

- ・三重県が陽性者を一元管理し、病院、臨時応急宿泊施設に案内する。

県で
実施している
事業です



三重県新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた無料PCR検査事業の案内

2022年2月10日まで実施。

申込みは県のHP『新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた無料PCR検査事業ポータルサイト』から。
申込フォームは名張市HPからも案内しています。

(1) 申込方法や検査等に関する問い合わせ先

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた無料PCR検査
事業事務局

（受託事業者：名鉄観光サービス株式会社津支店）

電話番号 059-213-3810

FAX 059-225-7633

受付時間 10時から17時30分（土日祝日も対応）

(2) 事業に関する問い合わせ先

三重県医療保健部情報分析・検査プロジェクトチーム

電話番号 059-224-3410

FAX 059-224-2558

E-mail: kensasui@pref.mie.lg.jp

受付時間 8時30分から17時15分（土日祝日を除く）

名張市健康子育て支援室、まちの保健
室（市内15か所）でも検査キットの配
付を行います。

※密にならないようご協力をお願いします。
※本人確認の書類をお持ちください。

配布期間：1月11日（火）～2月10日（木）

配布時間：8時30分～17時

問合わせ：名張市健康子育て支援室

電話 63-6970
